


# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、15名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

 **さやま市民大学は  
何のためにあるのか**  
三浦 和也(創政会)

## その他のテーマ

- ▶全修了生が人材バンク登録を
- ▶なぜ専用の体育館を持つのか
- ▶弁護士を任期付職員で採用を



### ◆人材バンクデータは地域の担い手へ提供して

さやま市民大学の修了生は何人で、そのうち人材バンクには何人、何%の方が登録しているのか。修了生と自治会などとのマッチングに、人材バンクデータは活かされているのか。

**市民部長** 修了生は803人で、そのうち人材バンクに登録している人は78人、全体の9.7%である。




狭山元氣プラザ  
(さやま市民大学)

る。データは、地域連携推進室で管理し、修了生を地域につなぐため活用。代表的な事例に、地域の防災リーダー養成講座の修了生を、地区の自主防災組織につないだことなどが挙げられる。

### ◆自治体法務に弁護士の活用を

弁護士資格を持つ者を任期付き職員などで採用し、積極的に自治体法務を強化してはどうか。

**総務部長** 近年、自治体を取り巻く環境が変化し、弁護士を職員に任用する動きが広がりつつある。本市でも、権利意識の高まりや情報公開制度の浸透などで、行政訴訟に発展することが増え、高い法務能力を持った人材の育成が急務となっている中、弁護士資格者の採用についても、先進自治体の事例などを研究していきたい。

 **健診と指導で  
健康寿命は延ばせる!**  
大沢 えみ子(日本共産党)

## その他のテーマ

- ▶データヘルス計画からの考察
- ▶利用しやすい健診・指導に
- ▶国保の限度額認定証の要件



### ◆健診と指導の効果

データ分析から見える健診、特定保健指導の効果について、どのように分析しているか。また、課題と今後の方向性は。

**長寿健康部長** 指導を受けた人は、受けていない人と比較して、翌年の特定健康診査における腹囲や体重、中性脂肪などの数値が改善し、また、受診者のうち、指導の対象も平成20年度の14.3%から26年度には11.3%に減少している。課題は、生活習慣を起因とする糖尿病その他の疾患の発症率をいかに引き下げるかで、健診と指導を受けることの啓発を一層行っていく。

### ◆限度額認定証


国保の限度額認定証について、滞納があっても

利用できる場合の要件は。特別な事情がある場合、どのような手続きが必要か。

**長寿健康部長** 災害のほか病気や負傷、事業の廃止などで、国保税が納付できないと認められることが要件となり、その場合は、被保険者から収入や資産などの状況を聴取し、届出を提出してもらったうえで、詳細に調査する。

### 特定保健指導の効果分析

- 指導を受けた方  
→翌年の健診で**各種数値が改善**
- 健診受診者のうち指導対象となる割合  
14.3% (2008年)→**11.3%** (2014年)
- 充実した狭山市の健診  
国の指定項目 **16**項目  
狭山市の実施項目 **24**項目

 **近年の財政状況と  
今後の行政運営**  
土方 隆司(新政みらい)

## その他のテーマ

- ▶新たな財源の確保
- ▶働く場所の確保
- ▶子どもを預ける場所の確保



### ◆財政の状況と対策

①歳入歳出の近年の傾向は。

②生活保護受給者によるパチンコ、飲酒などには、納税者からの厳しい意見があるが、受給者に就労の必要性和意識改革をどう促すか。

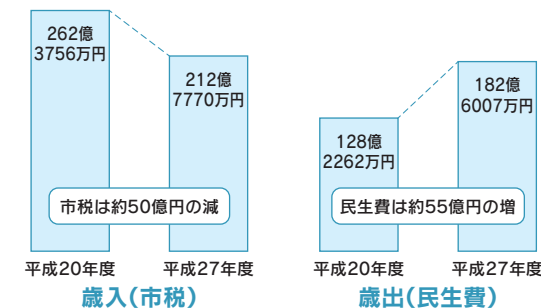
③厳しい財政状況の中、どのように市政経営を行っていくのか。


**総合政策部長** ①歳入は、市税が減少傾向にある中、地方交付税や地方消費税交付金などが増加し、不足する財源を財政調整基金と起債で補っている。歳出は、高齢化に伴う医療費の増や保育所の整備、生活保護費など、社会保障関係費である民生費が年々増加している。

**福祉子ども部長** ②就労支援プログラムに基づく支援を実施。今後も、就労の必要性を粘り強く

指導し、自立に向けた意識改革を図りたい。

**市長** ③市民の将来不安を増幅させず、持続可能で元気な狭山市をつくるため、歳入、歳出両面からの改革が急務である。本市が持つポテンシャルをもっと高めていくことができれば、将来は明るく開けていくと確信しており、スピード感を持って取り組んでいく。



 **中央中学校へも  
特別支援学級の設置を**  
金子 広和(創造)

## その他のテーマ

- ▶東中廃校後の保護者・地域の声
- ▶中央中学校指定の通学路整備
- ▶自動販売機の公募と有効活用



### ◆通学路の整備

中央中学校から中窪自治会方面へ抜ける通学路の整備状況は。

**生涯学習部長** 保護者から防犯灯の設置要望があり、中央中学校からの入り口側に3か所と、反対からの入り口側1か所に防犯灯を設置し、また双方の入り口に通学路であることの注意を喚



通学路の整備を望む

起する路面標示などを行った。

**都市建設部長** 生徒をはじめとする歩行者や車両の通行状況などを調査、確認し、地権者の状況も踏まえて退避場所の整備を検討していく。

### ◆特別支援学級と通級指導教室

中央中学校への特別支援学級設置に対する考えは。また、設置された場合の通級指導教室への影響は。

**学校教育部長** 特別支援学級は、各学校に設置されることが望ましく、生徒もより短い距離で通学できることから、平成30年4月を目途に中央中学校に設置する方向で検討している。また、設置された場合でも、できる限り通級指導教室に影響が出ないように当該校と協議していく。

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方は、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313